

Data (2024年9月現在)

所在地 〒104-0044

東京都中央区明石町 10-1

スタッフ 大森純子(教授)、小林真朝(准教授)、
浦口真奈美(准教授)、河本秋子(助教)、
根岸 薫(助教)URL <https://university.luke.ac.jp>

公共哲学講義後の修士1年生と教員5人。

聖路加国際大学大学院 看護学研究科

公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

1920(大正9)年に創立された本学は、看護のパイオニアとなる人材を先駆的に育成し、実践・教育・研究を通して日本の看護の水準向上に貢献してきました。1927年(昭和2年)に設置された聖路加国際病院の公衆衛生看護部の活動は、我が国の保健師活動のモデルとなり、同年には本学で公衆衛生看護教育が始まりました。近年では、アクティブラーニングなどの新しい教育アプローチや国際化の推進に取り組んでいます。2015年度には、博士前期(修士)課程に公衆衛生看護学上級実践コース(保健師国家試験受験資格取得)を開設し、これまでに64名の修了生を輩出しました。また20名以上の博士後期課程修了生がおり、全国の大学で教員として活躍しています。

Education

どのような教育をしていますか？

大学院では、博士後期課程(研究者コース、Doctor of Nursing Practice〔DNP〕コース)および博士前期課程(修士論文コース・上級実践コース)の学生がともに学び、研究結果を現場に生かす能力と、現場の問題を研究的に探究し改善に導く能力を育みます。保健師養成課程である公衆衛生看護学上級実践コースでは、「自分自身で考え創造する力」を伸ばす講義や演習、さまざまなフィールドでの16単位の実習を通して、現場で直面する課題に

柔軟に取り組み、リーダーシップを発揮できる人材を育成しています。「公共哲学・保健医療福祉システム」や「公衆衛生看護の倫理」など、社会のニーズに応える新たな学問・実践テーマについて、第一線で活躍する学内外の講師とともに、ディスカッションを中心とした授業を展開しています。

Research

どのような研究をしていますか？

地域の人々の健康と安寧、それを支える看護職の実践に役立つ研究に取り組んでいます。研究テーマは多岐にわたり、公衆衛生看護をはじめとする多様な学問領域の概念やモデルを活用・創造しています。現在、教室全体で行っている研究プロジェクトは「社会的包摂」の実証研究であり、そのほかにも各教員が行政・学校・産業保健の専門領域に関する研究を行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

国や地方公共団体、住民主体の築地界隈のプロジェクトへの参加や、実践の場の保健師と一緒に活動の評価や新たな実践の開発および協働研究を行っています。大学院には実践を継続しながら勉強をしている学生も多く、特にDNPコースでは実践の場で活動をしながら、組織として活動を改善するためのプロジェクトを行っています。学生の教育・研究活動を通じて、現場の保健師と経験や知識を共有しています。

ひとこと

本教室では、公衆衛生看護発祥の地で学び合い高め合う仲間を歓迎します。現場で気になる事象を解明したい方、説明できるようになりたい方、現場の課題を組織として解決したい方、大学院で保健師の国家資格を取得したい方、ぜひ私たちと一緒に公衆衛生看護学の知の創造に貢献しましょう。いつでも相談に応じます。ご連絡お待ちしています。(大森)

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法▶電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先▶医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp